

開会・新会員のご紹介

事務局より、デジタル推進者名簿に基づき前回開催以降の会員の異動を説明。

No.4 中小企業家同友会福島支部：新たに参画

No.5 福島市自治振興協議会連合会：推進者に飯野地区会長が参画

No.2 7 希望ヶ丘町会：No.5の推進者から先進的取組として協議会に参画

福島市の令和7年度取組予定

事務局より、資料に基づき説明。

ディスカッション

【参考】分野毎個別に取り組む推進項目」を参考に、福島市全体のデジタル化の進捗について議論。

主な内容

- ・未来を楽しめることが大事。そのためのプラットフォームづくりに取り組んできた。「未来」「子どもたち」「ワクワク感」がキーワードになるのではないかな。
- ・地域に求められるのはどんな人材か。若い世代の感覚にも留意しつつ考えたい。また、企業側がどういう人材を求めているのか、大学側も集めなくては行けないし、企業側からも発信してもらいたい。
- ・求められる人材の育成に向けて、AIやデジタル教育に関するカリキュラムを大学と市教委で共有したり、新しくつくっていくことができたらいと思う。
- ・これからの社会に求められるデジタル人材像の1つに、プログラムを書けるという人材ではなく、企業のデジタル化の取組を推進できる人材があげられるのではないかな。
- ・デジタル化を浸透させていくにはメリットを体験してもらうことが重要。地道な取組が大事。
- ・データの蓄積、利用は効率化につながる。また、データ分析のインフラがあるとビジネスが拡大するのではないかな。
- ・業界におけるデジタル化の必要性を感じた。この会議を共有の場として、互いにどういった連携ができるかを検討すると取組が進むのではないかな。